

二八五一番

人の見る 上は結びて 人の見ぬ 下紐開けて
恋ふる日そ多き

二八五二番

人言の 繁き時には 我妹子し 衣にありせば
下に着ましを

二八五三番

ま玉つく をちをしかねて 思へこそ 一重の衣
ひとり着て寝れ

二八五四番

白たへの 我が紐の緒の 絶えぬ間に 恋結びせ
む 逢はむ日までに